

今年度から外国語に親しむ活動を始めました。

好きな歌に外国語の歌詞が含まれている、テレビ等で外国の生活の様子や文化を紹介した番組を見ている、ハロウィンやクリスマス等の季節行事を楽しんでいる等、児童生徒は日常生活で外国語や外国の文化に触れる機会が多いです。

そこで、学校において外国語に親しみ、外国語を使ってコミュニケーションしたり、文化を知ったりする活動を今年度から始めました。アメリカ合衆国ミネソタ州出身のアンバー・ブネル先生が毎週金曜日に来校し、小学部・中学部・高等部の各学級に合わせた活動をしています。

4月には緊張したり、もじもじしたりしていた児童も、今では活動のある金曜日を楽しみにしています。自分から積極的に「good morning！アンバー先生 how are you？」と声をかけ、笑顔で会話している生徒もいます。

活動では、クイズや歌、ゲームなどを通して英語に親しみます。アンバー先生はほとんど英語で話します。児童生徒は、アンバー先生の伝えようとする英語を集中して聞いています。また表情やジェスチャーも見えています。児童生徒の「わかりたい」「伝えたい」という気持ちが強いと感じます。外国語の活動をとおして児童生徒は「わかりたい」「わかった！楽しい」「伝えたい」「伝わった！うれしい」というコミュニケーションの楽しさを体験しています。

